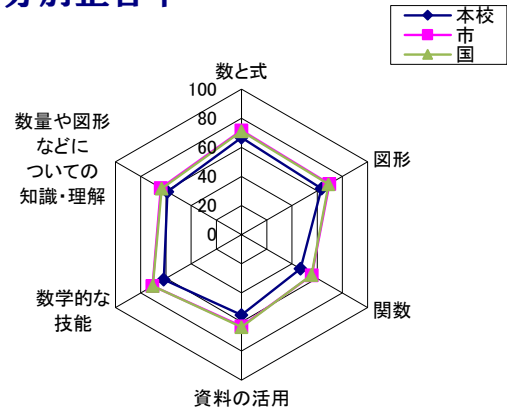


宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

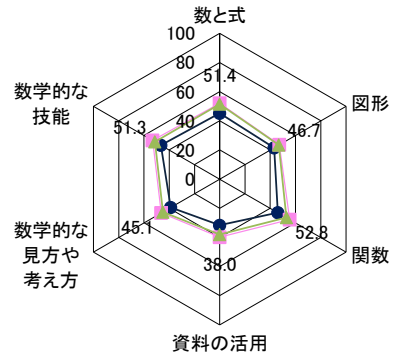
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	66.7	71.7	71.1
	図形	63.4	69.7	69.1
	関数	46.9	55.8	55.5
	資料の活用	55.2	62.9	63.5
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	61.7	70.6	70.4
	数量や図形などについての知識・理解	58.8	64.0	63.3



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	45.2	52.0	51.4
	図形	43.1	47.3	46.7
	関数	46.0	55.4	52.8
	資料の活用	31.6	39.8	38.0
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	38.8	46.3	45.1
	数学的な技能	46.6	53.1	51.3
	数量や図形などについての知識・理解			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○数直線の点を読み取る問題や文字式・比例式の計算の正答率が高かった。 ●数量の関係を不等式で表す問題や等式を変形する問題の正答率が低かった。	・計算分野に関しては、計算順序を確認しながら、反復練習をしていく。 ・文章問題を苦手とする生徒が多いので、問題文から図や表をつくり、似たような問題を繰り返し取り組んでいく。
図形	○回転体の名称を答える問題や見取り図から投影図を選ぶ問題の正答率が高かった。 ●証明について正しい記述を選ぶ問題の正答率が低かった。	・平面図形の分野では、平行線と角、多角形の外角の意味を理解させ、図形の証明の関しては、証明の仕方のパターンを覚えさせ、問題に何度も取り組んでいく。空間図形の分野では、具体的なものを使って、視覚に訴えるなど、丁寧に扱っていく。
関数	○点の位置を座標平面上に示す問題の正答率が高かった。 ●一次関数の増加量を求める問題や数量の関係を正しく記述しているものを選ぶ問題の正答率が低かった。	・それぞれの関数の特徴を確認し、式・表・グラフについて関連性を説明しながら、理解を深めていく。
資料の活用	○最頻値や中央値を求める問題の正答率が高かった。 ●相対度数の変化の様子を読み取る問題の正答率が低かった。また、確率の内容も正答率は低かった。	・確率の分野に関しては、樹形図や表を用いて、問題に取り組んでいく。 ・代表値(平均値、中央値、最頻値)の意味を再度確認し、理解させ問題に取り組んでいく。